

西区洪水ハザードマップ

洪水浸水想定区域(想定最大規模※)

帷子川水系河川：帷子川、石崎川、新田間川、幸川、帷子川分水路

この洪水ハザードマップは、帷子川水系等の河川の氾濫が予想される場合や実際に氾濫した場合に、浸水が想定される区域の皆さんに速やかに避難していただくために作成したものです。

※想定最大規模とは
「想定し得る最大規模の降雨」による氾濫を前提として予測したものです。



出典データ	
背景図	横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9024 号 横浜市建築局都市計画基本図データ (地図レベル2500) により作成
河川	横浜市道路局 河川図
浸水想定区域	帷子川水系浸水想定区域図
土砂災害警戒区域	横浜市建築局 土砂災害警戒区域 (令和5年12月現在)
土砂災害特別警戒区域	横浜市建築局 土砂災害特別警戒区域 (令和5年12月現在)

洪水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの？

こちらの面の洪水浸水想定区域^{※1}の範囲やその深さは、想定し得る最大規模の降雨(24時間で**390mm**)を前提として、川の水があふれた場合や堤防が壊れた場合をシミュレーションにより予測したものです。

【参考】横浜地方気象台では、平成26年10月5日に24時間で約307mmの降雨を観測しています。^{※2}

なお、この洪水浸水想定区域は、前提となる降雨を超えるような大雨、下水道等からの浸水、水路の氾濫等を考慮していませんので、着色されていない区域でも浸水が発生する場合や、実際の浸水深と異なる場合があります。また、図面の表記上、主要道路等の浸水深は着色されておりませんので、詳しい浸水深は、神奈川県のホームページでご確認ください。

- ※1 神奈川県ホームページ
(<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/f4i/cnt/f3747/p1039490.html>)
- ※2 横浜地方気象台ホームページ
(<https://www.jma-net.go.jp/yokohama/>)



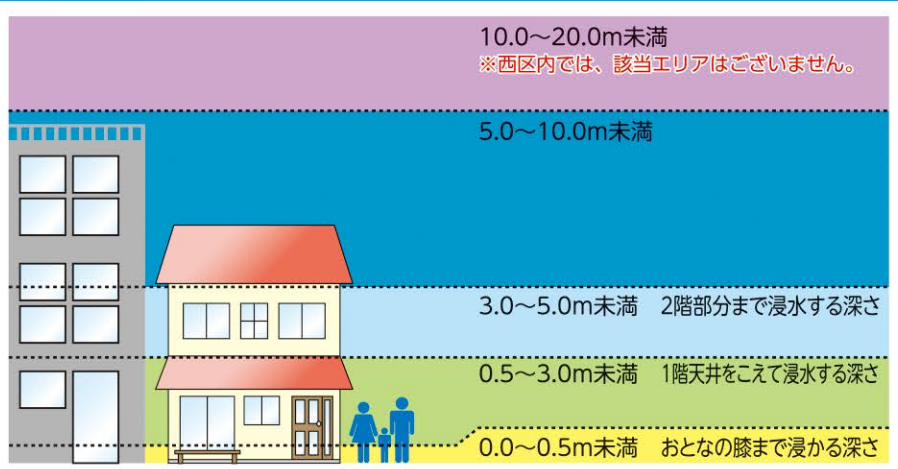
横浜市水防災情報

横浜市内外の河川の水位やカメラ画像をリアルタイムで公開しています。
スマートフォンでは現在地機能で近くの河川情報を取得できます。



凡 例 (Explanatory Notes)

◎浸水深のめやす



※内水ハザードマップの浸水深とは、浸水階級差が異なります。

◎避難する際に注意する箇所

	家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸浸食)	河岸侵食により家屋が倒壊・流出するおそれがある区域の目安 ※家屋の構造、強度特性や護岸対策等の違いにより、この区域の境界はあくまでも目安です。
	アンダーパス	大雨時に雨水が急激に集中し、冠水して安全な通行に支障をきたすおそれがある場所 (進入すると危険なため、冠水時の通行は控えてください。)
	土砂災害警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒体制の整備が行われます。
	土砂災害特別警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

	都県界		高速道路・有料道路
	市区界		主要道路
	町丁目界		避難場所
	J R 線・駅		雨量観測所
	私鉄線・駅		水位観測所
	市営地下鉄線・駅		河川監視カメラ

想定条件

帷子川水系：24時間で390mmの降雨

1 : 10,000

500m 0m 500m 1000m

風水害時における避難場所について

西区では風水害時の避難場所として、下記に示した指定緊急避難場所等を優先して開設します。

開設する条件	No.	避難場所	所在地	位置
横浜市南部に土砂災害警戒情報が発表された場合	1	一本松小学校	西戸部町1-115	E-6
	2	老松中学校	老松町27番地	F-6
	3	西区センター・西公会堂	岡野1-6-41	E-3
洪水等で被害が予想される場合	4	西スポーツセンター	浅間町4-340-1	D-4
	5	平沼小学校	平沼2-11-36	E-4
	6	藤棚地区センター	藤棚町2-198	E-5

- ◇災害時には上記避難場所以外に、地域ケアプラザ等の公共施設、自治会町内会館を避難場所として開設する場合もありますので、避難の際は、必ず、市・区のホームページやテレビ(データ放送)等で開設されている避難場所をご確認ください。
- ◇2か所以上の避難場所へ避難できるよう、自分自身であらかじめ複数の避難経路を確認しておきましょう。
- ◇すでに浸水が始まっている場合などには無理に避難場所へ移動せず、浸水していない近くの高いところに避難してください。



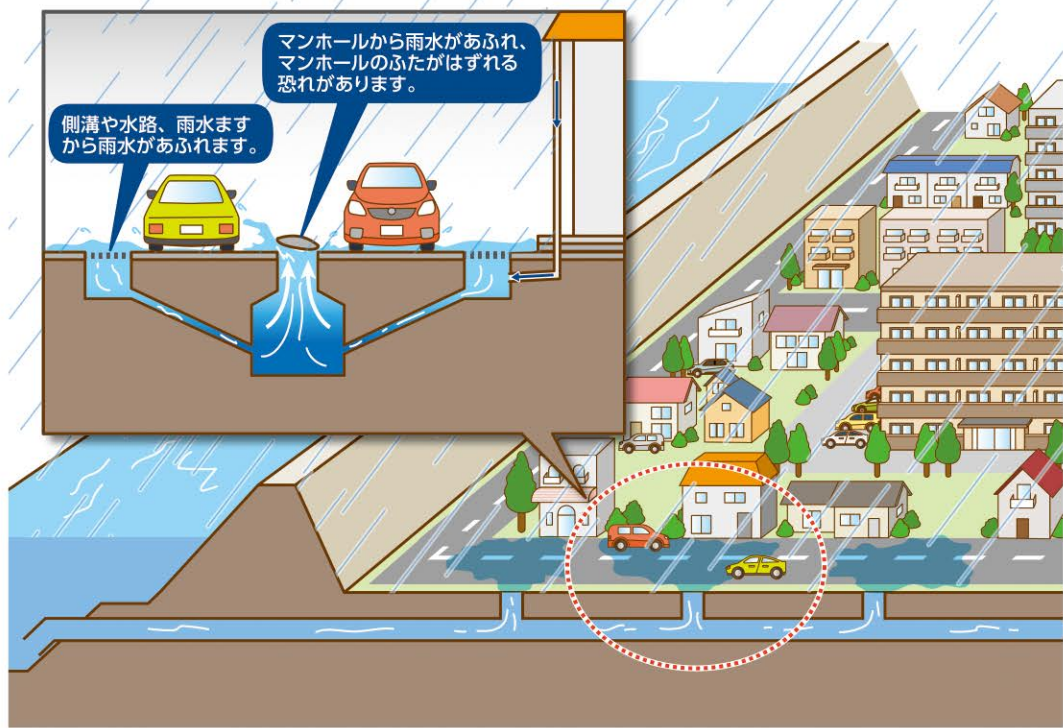
1 西区の避難場所は、こちらからも確認できます。

西区内水ハザードマップ

内水浸水想定区域(想定最大規模)

この内水ハザードマップは、下水道の能力を超える大雨に対して、浸水が想定される区域の皆さんに日頃からの備えや対策をとっていただくために作成したものです。

※河川周辺の浸水想定については、必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。



※内水氾濫の浸水想定区域図は、平成30年度末の河川や下水道施設等の整備状況および地盤の高さを反映して、横浜市環境創造局が作成したものです。

雨の降り方によっては、浸水区域や浸水深がこの区域と異なる場合があります。

出典データ	
背景図	横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9024 号 横浜市建築局都市計画基本図データ (地図レベル2500) により作成
内水浸水想定区域	横浜市環境創造局 西区内水浸水想定区域 (令和3年4月)

内水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの？

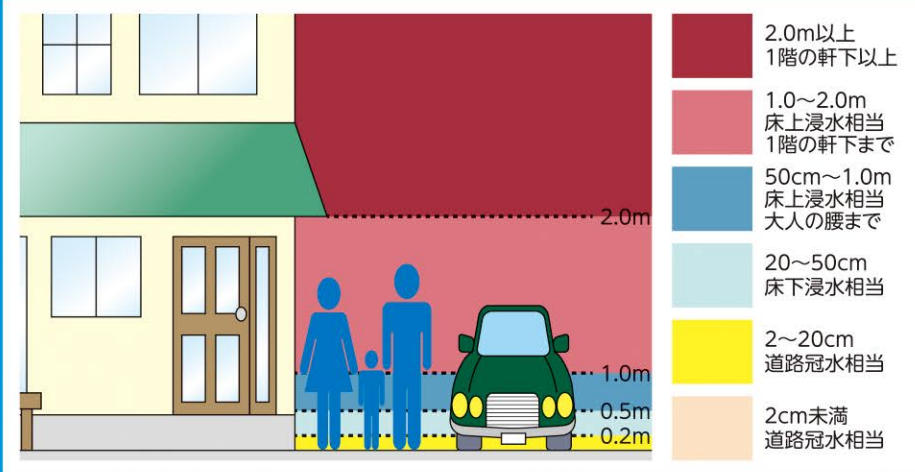
この内水浸水想定区域は、想定最大規模の降雨によって、下水道や水路、道路側溝などから水があふれる範囲や深さをシミュレーションしたものです。想定最大規模降雨とは、各地方において過去に観測された最大の降雨量を基本に設定することになっており横浜市では、1999年に関東地方で観測された時間降雨量**153mm**としています。

なお、この内水浸水想定区域図は河川の堤防を越えて水があふれることも考慮してシミュレーションしていますが、堤防の決壊は想定していないため、洪水浸水想定区域と浸水深や浸水範囲が異なる場合があります。

必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。

凡 例 (Explanatory Notes)

◎浸水深のめやす



※洪水ハザードマップ・高潮ハザードマップの浸水深とは、浸水階級差が異なります。

◎避難する際に注意する箇所

	アンダーパス	大雨時に雨水が急激に集中し、冠水して安全な通行に支障をきたすおそれがある箇所 (進入すると危険なため、冠水時の通行は控えてください。)
	都県界	
	市区界	
	町丁目界	
	J R線・駅	
	私鉄線・駅	
	市営地下鉄線・駅	
	河川	
	高速道路・有料道路	
	主要道路	
	雨量観測所	
	水位観測所	
	河川監視カメラ	
	下水道事業計画区域*	

※国海部の灰色着色した区域については下水道事業計画区域外のため、内水浸水想定区域の対象外になります。

想定条件

1時間で
153mmの降雨

想定最大規模降雨